

原発再稼働ストップ 金曜行動 7月2日

◇盛岡

海洋放出ダメだ

「盛岡でもデモし隊☆」は、盛岡市で脱原発を求める249回目のデモ行進をしました。20人が参加し、「東北電力原発やめて」「女川原発いまずく廃炉」などと元気よくコールしました。

参加した77歳の男性は、「知人の男性（元公務員）が『国が汚染水の海洋放出を決定したのはダメだよ。薄めたって環境への影響はゼロにはならない』と怒っていた」と話しました。

デモ行進する参加者＝盛岡市



日本共産党の吉田恭子衆院岩手1区候補も歩きました。



「力をあわせ原発ゼロ実現の政治に転換を」と訴える参加者＝秋田市

◇秋田

原発ゼロへデモ

秋田県の「さよなら原発県民アクション」は、秋田市での行動を再開しました。430回目のデモ行進に32人が参加しました。

東日本大震災、福島原発事故から10年、今も避難を余儀なくされている多くの被災者に思いを寄せ、「脱炭素社会、国力維持向上」などと、福島切り捨てで破綻した原子力政策推進に固執する自民党と菅政権、老朽・被災原発再稼働を進める電力会社を批判。「力をあわせ原発ゼロ実現の政治に転換しよう」と訴えました。

◇北九州

教訓生かされず

「さよなら原発！北九州連絡会」は、北九州市のJR小倉駅前でも434回目の行動に取り組みました。緊急事態宣言期間の約1カ月休止していましたが、先週から再開しました。

参加者は、「なくせ原発！



原発のない社会を訴える参加者＝北九州小倉北区

許すな再稼働」の横断幕を広げ、「玄海原発再稼働反対」などのプラカードを手に、リレートーク。「原発ゼロ基本法の制定を求める請願署名」を呼びかけました。

事務局長の深江守氏は、脱原発の世界の流れから日本が遅れていると指摘し、「私たちが一緒に原発のない社会をつくっていきましょう」と訴え。参加者とともに「原発いらない」「再稼働反対」のコールをしました。

署名した会社員の男性（33）は、脱炭素を口実に原発を推進する日本政府に対し「納得できない。福島での原発事故の教訓が全く生かされていない」と話しました。



市内をデモ行進する参加者＝9日、前橋市

◇前橋
声上げ変えよう

「原発からの撤退を」の声を広げる112回目の昼休みデモが前橋市内で行われ、約50人が参加しました。群馬県労働組合会議など県内五つの市民団体が主催。日本共産党の梅村さえ

原発事故賠償群馬訴訟

こ衆院北関東比例候補が「野党が提出した原発ゼロ法案を実現するため、新しい政権をつくらう」と呼びかけ。県労働会議

議長石田清人氏は「安全・安心がウソなのは原発も五輪も同じ。声を上げて政権交代しよう」と訴えました。

◇秋田

住民の声を聞け

秋田県の「さよなら原発県民アクション」は、秋田市中通かいわいで431回目のデモ行進をしました。

20人が参加し、関西電力美浜原発3号機など老朽原発再稼働、福島第1原発事故汚染水の海洋放出決定に対し、住民の安全を無視して強権的に進めるものと菅政権・電力会社に強く抗議。「コロナ感染拡大の緊急事態宣言下、命よりも五輪・パラリンピックありきの開催強行と本質は一緒。力を合わせ声をあげ続けよう」と訴えました。

伊方原発保安規定抵触

再稼働撤回を

四電などに党と住民団体

「伊方等の原発をなす愛媛県民連絡会議」と日本共産党愛媛県委員会共同して9日、「伊方原発の保安規定抵触問題、三菱不正問題などに関する申し入れ」を四国電力と愛媛県、原子力規制委員会に行い、10月の3号機再稼働を白紙撤回するよう求めました。

同連絡会議の和田幸代表幹事と林紀子党県委員長、田中克彦県議、片岡朗党愛媛1区国政対策委員長、遠藤あや八幡浜市議らが、松山市の四電原子力本部や県庁を訪れて要請。

和田氏らは、2017年5月19日に伊方原発で繰り返された保安規定不適合事案（宿直勤務の社員が無断外出し、重大事故対応のため原発構内に待機が必要な要員数を満たし

ていない時間帯があった）について、「原発の運転期間中を含めて配管接続班長不在の時間帯があり、住民の命と安全を無視した暴挙が繰り返された」と指摘。原発を運転する資格に欠けると言うほか、10月12日の再稼働を白紙撤回するよう求めました。林氏は「伊方原発では、これまでも重大事故が発生してきたが、今回の不適合事案は5回も行われ、極めて深刻だ。『原発を動かす資格なし』と言われても仕方がない」と厳しく指摘しました。四電原子力本部の藤原朋子調査グループリーダーは「今回のことは重大なことと受け止め、詳細を調査し、企業倫理の徹底をしていきたい」と答えました。



原発をなくそうと訴える参加者―前橋駅北口

◇前橋
動かす資格ない

原発をなくす前橋連絡会は、前橋市の前橋駅北口で439回目の宣伝にとりくみ、12人が参加しました。

連絡会の大川正治事務局長が、「東電は、自主避難者は勝手に避難した、賠償金を払いすぎたと主張した。事故を反省せず責任も取らない東電に、原発を動かす資格はない」と批判しました。

荒木兼男事務局次長が「去年、発電に占める原子力の割合は6%以下。現政権はこれを4倍に引き上げようとしている」と訴え。日本共産党の酒井宏明群馬県議が「原発なくせの声を総選挙にぶつけ、原発ゼロ推進議員を当選させよう」と呼びかけました。

共産党の、たなはしせつ子衆院群馬1区候補も参加しました。

原発再稼働ストップ



◇秋田
デモに22人参加

秋田県の「さよなら原発県民アクション」は、秋田市で432回目のデモ行進に22人が参加。日本共産党の佐藤純子秋田市議団長が参加しました。

「破綻した原子力政策に固執し、暮らしや環境に計り知れない打撃を与える原



原発ゼロを訴える佐藤市議団長（前列中央）ら参加者―秋田市

発を、気候変動対策などと正当化することは絶対に許さない」と、老朽原発再稼働などを進める政府・財界を強く批判。「原発ゼロ、エネルギー政策転換を実現する、命と暮らしを守る政府に変えよう」と訴えました。

◇盛岡

共存はできない

「盛岡でもデモし隊☆」



2500回目のデモをする参加者―盛岡市

は、盛岡市で2500回目となる脱原発のデモ行進に取り組みました。蒸し暑いなか、18人が参加しました。

主催者が、2012年7月から始まった金デモが2500回を迎えたと報告。参加者らが歓声を上げました。

スピーチをした日本共産党の吉田恭子衆院岩手1区候補は、「福島県民の苦しみはいまも続いている。原発と人類は共存できないと痛感した10年間だった」と強調。老朽原発の運転期間延長は許されないと訴えました。

久しぶりに参加した子育て中の女性は、「福島の事故後も各地に原発が残っているが、トラブルが起きた時に大丈夫なのか。国は廃炉へかじを切るべきだ」と話しました。



金曜行動 7月23日

◇秋田

国民の声を聞け

秋田県の「さよなら原発 県民アクション」は、秋田市で433回目のデモ行進をし、19人が参加しました。

◇新潟

人ごとではない

議。「国民の声を無視し、命を危険にさらす五輪、原発推進は今すぐ中止し、コロナ対策に全力を尽くせ。汚染水を海に流すな、被災者に完全賠償せよ」と訴えました。

復興五輪、安心安全などと理念も大義も根拠も破綻したと批判し、コロナ感染拡大による緊急事態宣言下の無謀な五輪開会に強く抗



「無謀な五輪・原発推進は中止を」と訴える参加者―秋田市

なくそう原発・新潟市民ネットは、新潟駅前で21人が参加して9周年を迎えた金曜行動を実施。420回でのべ8036人が参加しました。集会では飛び入りの女性2人もマイクを握り、「原発事故を起こした責任を取らない政府はおかしい。原発を人ごとではなく自分の問題と考えて行動しよう」と訴えました。

参加者は、「五輪でも日本政府の人権意識の低さが明らかになったが、福島第1原発事故後に居住可能地

9周年・420回目と書かれたフラカードを先頭にデモ行進する参加者―新潟駅前



域の年間放射線限度量を引き上げたことは不当と指摘した国連人権理事会の勧告も日本政府は無視し続けている。原発事故被害者の救済、原発ゼロ基本法を早急に実現しよう」「宮城や福井など原発再稼働に前のめりの国の姿勢を正すため、総選挙で原発ゼロを実現する議席を増やそう」などと訴えました。

原発再稼働ストップ



脱原発と五輪中止を呼びかける人々―徳島市

◇徳島

命軽視同じ姿勢

「原発再稼働反対！ 徳島有志の会」は、徳島市のJR徳島駅前で460回目の「金曜行動」で脱原発を訴えました。

徳島市の笹山聰子さん(77)は「自公政権は『復興五輪』と言ってきたが、コロナ感染症急拡大の中で開催が強行される。国民の命をないがしろにする政府の姿勢は、五輪でも原発でも共通している」とのべました。

同市の尾華優博さん(71)は「菅首相は『安全・安心』の五輪」と言うが、原発も同じことを言っていて事故を起こした」と怒りを込めました。同市の横山良さん(75)は「菅首相は『五輪が始まれば国民はコロナを忘れる』とたかをくくっているのだから、コロナへの無策も、原発事故も国民は忘れない」と訴えました。



◇松山

こつこつ丸9年

四国電力伊方原発（愛媛県伊方町）の再稼働を許さず、廃炉にしようと毎週金

曜日午後6時から愛媛県庁前で行われている「伊方原発をとめよう！愛媛県庁前抗議行動」が開始から丸9年を迎えました。参加者は「絶対に負けられないたたかい」と決意を新たにしてい

ました。

夕方、県庁前に集まった参加者は「伊方原発再稼働許さん」と書かれたプラカードなどを掲げてスタンディング。

スピーチに立った参加者たちは、この間明らかになった伊方原発での保安規定不適合事案（度重なる社員

の無断外出による必要待機要員数不足の発生）にふれ「四国電力には原発を動かす技術も、管理能力も、責任感も何一つない」と批判。中村時広知事に対し、「住民の命と暮らしを守るならば、再稼働の地元同意を撤回すべきだ」などと訴えま

した。参加者はギターやアコーディオンの伴奏で「ふるさととは原発を許さない」や軽快なリズムにアレンジされた「民衆の歌」などを歌い、「伊方原発廃炉にしよう」「再稼働はさせないぞ」などとコールしました。

◇大津

運転継続許すな

大津市の関西電力滋賀支

「原発、日本のどこにもいらない」とコールする参加者。大津市



社前で435回目の「キンカン行動」がありました。

ばいばい原発・守ろうびわ湖住民運動連絡会の藤崎良一さんは、経産省が公表した「エネルギー基本計画」素案を批判し、「老朽原発の運転継続は許さない」と述べました。

参加した男性は「秋には必ず総選挙があります。原発でもコロナでも、国民の命を大事にしない政権を交代させよう」と話しました。

原発再稼働ストップ



丸9年を迎えた県庁前行動。松山市